



## 01 山県市円原災害現場視察

豪雨により山腹崩壊が発生した円原地内の災害現場を7月14日に視察しました。現場は円原の伏流水でも有名な地域で県内外から多くの方々が訪れる名所でもあります。1日も早い復旧に向けて県と市が連携して進めてまいります。  
※円原の伏流水への市道は現在通行止めです。



「ぎふ・水と緑の環境百選」にも選ばれ、川霧に覆われた幻想的な景色や木々の間から太陽の光が差し込む「光芒」が見られます。

## 02 古田肇岐阜県知事への『新型コロナウイルス感染症に係る緊急要望』

第2弾・第3弾となる『新型コロナウイルス感染症に係る緊急要望』を5月29日と7月9日に自由民主党岐阜県支部連合会と県政自民クラブから古田肇岐阜県知事に提出をさせていただきました。



## 03 『三山ひろし氏』山県市ふるさと大使任命式



『山県市ふるさと大使』に本市ゆかりの演歌歌手『三山ひろし氏』が就任されました。



活動報告書 No. 26

# 挑戦

# 未来が開けますか。

せずつして、

We have potentials

Potential  
安心も自立も挑戦の先にある

岐阜県議会議員 Onda Yoshiyuki  
**恩田よしゆき**

岐阜県議会議員 恩田よしゆき事務所  
〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1  
TEL0581-32-9597 FAX0581-32-9598  
HP 恩田よしゆき 検索      
岐阜県議会議員 恩田よしゆき後援会 討議資料 No.26

# 岐阜県議会定例会

一般質問 史跡等の文化財の保存と活用について

本年は大河ドラマ『麒麟がくる』や『関ヶ原古戦場記念館』など岐阜県ゆかりの歴史や文化財等が大きく注目されています。

岐阜県や山県市にもゆかりの明智光秀公や斎藤道三公などに関連する文献や史跡等について、民間の方々の数多くの調査も紹介されています。

本県ゆかりの歴史や史跡・文献等の文化財に注目が集まり機運が高い今だからこそ、軌を一にした文化財の保存や活用に取り組みを推進していく必要があると考え提案をさせて頂きました。



**課題** 文化財は国、県、市でそれぞれ指定を行いますが、市町村指定文化財を国や県の指定文化財にするには市町村が行わなければなりません。県としては支援をする事しかできません。

しかし、市町村によっては予算や人員の関係から市内に価値のある文化財がありながら申請に躊躇されるケースも見受けられます。

岐阜県では平成8年から平成16年にかけて『岐阜県中世城館跡総合調査』を実施しました。これまで約400カ所の城館跡が知られていましたが、その調査により809箇所の城館跡が確認されました。

その後、岐阜城跡や美濃金山城跡などは国史跡となりましたが、その他にも松尾山城跡や岩村城跡として、山県市の大桑城跡は国史跡と同等の価値があると評価をされていました。

## ①文化財の保存と活用を図るための支援について

**質問** 文化財を守り活用していく事は大変重要であると考えますが、市町村によっては取組みが思う様に進まないケースもあります。

そこで、地域に埋もれている文化財に価値を持たせ、地域全体で保存と活用を図るために市町村支援をどの様に取り組まれるのかお尋ね致します。

**答弁** 県では『文化財保存活用大綱』を今年度中に策定し、本県の文化財を後世に守り伝えていくための中長期的な方針を示してまいります。

大綱には、市町村が地域の歴史的特徴を十分に活かし、文化財の的確な保存と活用を主導的に進めていけるよう、県が行う市町村への支援の方針を定めます。

具体的には、『広域的な調査研究の推進』、『市町村間の連携調整』、『歴史上価値が高い文化財の国指定に向けたサポート』、『専門的アドバイスを求める市町村への有識者派遣』などを盛り込む事により、文化財の価値が認められ、地域の重要な資源として、地域に愛され誇りとなっていく支援をしてまいります。

県民文化局長

## ②文化財を活用した観光振興について

白川郷の『世界遺産』の認定をはじめ、岐阜県独自の『岐阜の宝もの』の様に取組みによって文化財の価値を向上させ観光振興に繋がっている成功事例があります。世界遺産の認定が続いた岐阜県で認定前と認定後の「観光入込客数」の推移の比較が下記の通りです。

●ユネスコ無形文化遺産登録  
『日本の山・鉾・屋台行事』高山祭 (平成28年12月登録)

平成28年	→	平成29年
31万6,500人		43万2,000人



●『岐阜の宝もの』に選定された『東美濃の山城』  
(平成29年9月選定)

平成29年	→	令和元年
18万6,023人		31万5,636人

※岩村城跡、苗木城跡、美濃金山城跡とそれに関連する資料館の入込客数となります。



苗木城跡

これらの数字が意味するところは、まさしく、文化財として適切な評価をして価値の位置付けを行った結果、観光資源として成り立っている事例であります。

又、城跡の様な文化財は屋外にある事から『新しい生活様式』や業界のガイドラインとの兼ね合いを考へてもアフターコロナにおける観光振興として活用できます。

**質問** 歴史的価値のある史跡等の文化財を活用した観光振興の方策についてお尋ね致します。

**答弁** 史跡を含めた文化財を活用した観光振興は、コロナ社会における『新しい岐阜の観光』にも繋がるものと考えます。今後予定されている大河ドラマの放送再開や、岐阜関ヶ原古戦場記念館のオープンなども再発進の好機と捉え、本県ゆかりの戦国武将やその史跡等を活かした、本県ならではの戦国武将観光をより本格化させてまいります。併せて、文化財を含めた地域資源を観光振興に活かす『新たなプロジェクトを展開』してまいります。

## 先進事例としての山県市の取組みが紹介されています。

これまで大桑城跡は、国史跡と同等の価値があると評価を受けてきました。

今年度より専門家を招聘して『山県市大桑城跡調査検討委員会』を設置し、国史跡に向けた本格的な調査がスタートしました。



古田肇岐阜県知事にも大桑城跡の視察にお越し頂きました。